

新潟県内バレーボール指導者 各位

体罰・暴力・暴言・威圧等の根絶に向けて（お願い）

新潟県バレーボール協会では、2019年度の事業方針・具体的目標に「体罰・暴力・ハラスメントの根絶並びにコンプライアンスの推進」を掲げ、楽しく魅力あるバレーボールを目指すようお願いして参りました。

しかし、残念ながら日本国内・県内のスポーツ指導者のコンプライアンス違反や不適切な指導が指摘されるようなことが新聞などで報じられています。

バレーボールにかかわるすべての方々が自分自身の事として受け止め、今一度ご自身の指導について考えてみてください。

スポーツは本来、楽しいものでなければなりません。小中高生は練習と試合を通じて技術を高め、チームメイトとの絆を深める中でフェアプレー精神を学び、人間的に大きく成長すると考えています。

指導者と選手はバレーボールを愛する者として、お互いに尊重し合わなければなりません。各人がこのことを十分に理解することが、暴力・体罰行為など倫理に反する行為を防止する上で、最も重要と考えています。

ひたむきに競技に励む選手は周囲に共感を呼び、学校やコミュニティーに笑顔の輪を広げます。スポーツ文化はそのようにして、はぐくまれるものです。バレーボールはもっと明るく創造的な環境で親しまれるべき競技です。卑屈で陰湿な暴力行為やセクシャルハラスメント（セクハラ）は、自由で伸びやかな自己表現であるスポーツと対極に位置するものであり、バレーボール競技に入りこむ余地があってはなりません。

新潟県のバレーボール界から暴力・体罰・暴言・威圧等の根絶を強く推進していかねればなりません。バレーボール指導者の皆様からのご理解とご協力をお願い申し上げます。

2019年12月15日

新潟県バレーボール協会
会長 中山 宏
ガバナンス等特別委員会
委員長 猪俣 弘平